NORTi Socket Interface ユーザーズガイド

2022年03月版



目次

第1章 導入	1
1.1 はじめに	1
1.2 ファイル構成	1
1.3 ソケットとは	1
1.4 BSD ソケットとの比較	2
1.5 制限事項	2
第2章 ソケットの動作と共通定義	3
2.1 ソケットの状態	3
2.2 内部で使用する OS リソース	4
2.3 コンフィグレーション	4
2.4 エラーコード	4
第3章 関数定義	5
3.1 関数一覧	5
sock_ini	6
socket	7
bind	8
listen	10
accept	11
connect	12
send	13
recv	14
sendto	15
recvfrom	16
close	17
shutdownshutdown	18
setsockopt	19
getsockopt	20
nsl_get_err	21
inet_addr	22
inet_ntoa	23
inet_aton	24
inet_pton	25
inet_ntop	26
gethostbynamegethostbyname	27

NORTi Socket Interface

getpeername	28
getsockname	29
getaddrinfo	30
freeaddrinfo	32
select	33
ioct!	34

___ 第1章 導入

1.1 はじめに

NORTi Socket Interface (以降ソケットインターフェース) を使用すると NORTi プロトコルスタックで BSD ソケットインターフェースを使用することができます。BSD ソケットを使用して記述されたアプリケーションプログラムを NORTi に移植することができます。

1.2 ファイル構成

ソケットインターフェースは次のファイルで構成されています。

nonsock. h ソケットインターフェースヘッダファイル

ソケットインターフェースを使用する全てのファイルで#include する必要があります。この ヘッダーファイルにはソケットインターフェースで使用する全ての構造体と関数のプロトタ イプ宣言が含まれています。

nonsock. c ソケットインターフェースソースファイル

ソケットインターフェースのソースファイルです。ソケットインターフェースを使用する為にはこのファイルと nonedns. c、nondhcp. c、n4dxxx. xxx または n4nxxx. xxx をアプリケーションにリンクしてください。

1.3 ソケットとは

ソケットはネットワーク通信を行うためのエンドポイントを提供する抽象的なものです。アプリケーションプログラムはソケットを生成する場合、ソケットインターフェースに要求します。 socket 関数は新たに生成されたソケットの値を int 型の値を返します。アプリケーションは特定のアドレスに固定されずにソケットを作成することができ、ソケットを使用するたびに終点アドレスを決めることができます(UDP エンドポイント)。 あるいはあらかじめ終点アドレスを固定化して使用することもできます(TCP エンドポイント)

1.4 BSD ソケットとの比較

ソケットインターフェースは BSD ソケットインターフェースを基にインプリメントされています。しかし、これら2つにはいくつかの違いがあります。以下は相違内容です。

関数	NORTi Socket Interface	BSD Socket Interface
sock_ini	NORTi 独自	
listen	パラメータ backlog は未使用です。	カーネルがキューイングする接続の最
	キューイングの機能は未サポート	大の数を指定するために使用される
send	パラメータ flag は未使用	MSG オプションをカーネルに指定する
recv		
sendto		
recvfrom		
shutdown	パラメータ howto は SHUT_RDWR のみ	SHUT_RD、SHUT_WD、SHUT_RDWR を指定
	サポート	可能
setsockopt	以下の機能のみサポート	他に多くのオプションをサポート
getsockopt	SO_SOCKET	
	SO_BROADCAST	
	SO_RCVBUF	
	SO_SNDBUF	
	SO_RCVTIMEO, SO_SNDTIMEO	
	SO_CLSTIMEO (NORTi 独自)	
	IP_TOS, IP_TTL	
nsl_get_err	NORTi 独自	
select	・ 例外状態検出を未サポート	・ 例外状態を検出可能
	・ 確立済み接続の検出を未サポー	・ listen による確立待ち/確立済み
	۲	接続のキューイングで確立済み接
	・ 読み出し(受信)において FIN ま	続がキューに入った場合を検出可
	たは RST を受信した場合のみ検	能
	出可能	・ 読み出し(受信)/書き込み(送信)
	・ 帯域外のデータチェックを未サ	において接続がクローズされた場
	ポート	合を検出可能
		・ 帯域外データチェックを検出可能
ioctl	FIONREAD リクエストのみサポート	他に多くのリクエストをサポート

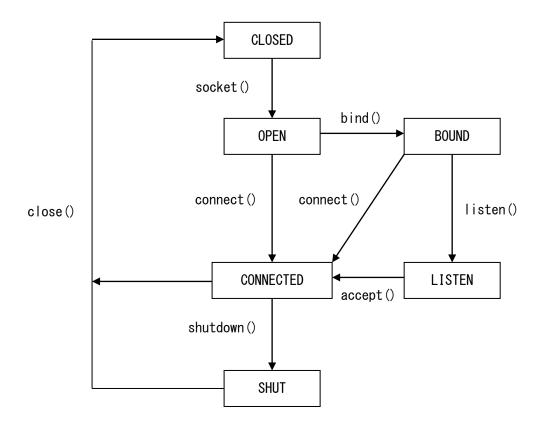
1.5 制限事項

NORTi Version4 以外での動作は保証対象外です。

第2章 ソケットの動作と共通定義

2.1 ソケットの状態

以下のダイアグラムは、関数呼び出しによって変化するソケットの状態を表しています。



2.2 内部で使用する OS リソース

次のリソースが使用されます。各リソースの ID は内部で自動的に設定されます。

TCP 受付口 受動接続を行う毎に1つ

listen を呼び出す毎に1つ生成します。

TCP 通信端点 ソケット毎に1つ

accept または connect で生成され close で削除されます。

各通信端点は次のバッファサイズがデフォルトで使用されます。

TCP 送信バッファのサイズ 8192byte TCP 受信バッファのサイズ 8192byte

UDP 通信端点 ソケット毎に1つ

可変長メモリプール 1つ

 $MAX_SOCK \times (RCV_BUF_SIZE + SND_BUF_SIZE)$

デフォルトで 32Kbyte 使用します。

※必要に応じて受付口、通信端点、可変長メモリプール ID の最大値を設定してください。

2.3 コンフィグレーション

使用するソケットの数、送受信バッファのサイズを変更できます。特に必要がなければデフォルトのまま使用してください。

次の定義は nonsock. c をコンパイルする際にマクロ指定することで値を変更できます。

() 内はデフォルト値です。

MAX_SOCK 使用するソケットの最大数 (8)

SND_BUF_SIZE TCP 通信で使用する送信バッファのサイズ (8192) RCV_BUF_SIZE TCP 通信で使用する受信バッファのサイズ (8192)

MAX_SELECT_INFO select 管理テーブルのエントリ数 (8)

例)shc 〈op〉-def= MAX_SOCK =20 nonsock.c SHC の場合

MAX_SELECT_INFOには、select()で監視するソケットの最大数を定義してください。

2.4 エラーコード

全ての関数はエラーの場合-1でリターンします。nsl_get_err 関数を呼び出すことでエラーの詳細を獲得できます。

第3章 関数定義

3.1 関数一覧

sock_ini ソケットインターフェースの初期化

socket ソケットの生成

bind 指定されたローカルアドレスとの関連付けを行う

listen コネクションの受付を開始する accept コネクション要求を受け付ける

connect コネクションを確立する

sendデータ送信recvデータ受信

sendto 指定した宛先にデータを送信

rcvfrom データを受信し、始点アドレスを格納

close ソケットを閉じる

shutdown send および recv の呼び出し、またはどちらか一方の呼び出しを

無効にする

setsockopt ソケットオプションを設定する getsockopt ソケットオプションを取得する

nsl_get_err ソケット関数のエラーの詳細を取り出す

inet_addrIPv4 のアドレス文字列を 32bit バイナリアドレスへ変換するinet_ntoa32bit バイナリアドレスをドット付き 10 進文字列に変換するinet_atonIPv4 のアドレス文字列を 32bit バイナリアドレスへ変換する

inet_pton IPv4 および IPv6 のアドレス文字列をバイナリアドレスへ変換する

inet_ntop ネットワークアドレス構造体で表しているバイナリアドレスを文字列へ

変換する

gethostbyname ホスト名からホスト情報を検索する

getpeername ソケットのリモートプロトコルアドレスを返す getsockname ソケットのローカルプロトコルアドレスを返す

getaddrinfo ホスト名とポート番号に該当するネットワークアドレス構造体を返す

freeaddrinfo getaddrinfo 関数による割り当てられたリソースを解放する

select入出力の多重化ioctlソケットの制御

sock_ini

【機能】 ソケットインターフェースの初期化

【形式】 int sock_ini(void)

【戾值】 0 正常終了

-1 エラー

【解説】 ソケットインターフェースの初期化を行います。ソケットインターフェースの各関数を使用する前に一度だけ呼び出してください。

エラーコード	値	内容
E_MEMORY	1017	可変長メモリプールが生成できない

socket

【機能】 ソケットの生成

【形式】 int socket(int af, int type, int protocol)

af アドレスファミリ

type プロトコルタイプ

protocol 未使用(0 を指定)

【 戻値 】 0以上 正常終了(ソケットディスクリプタを返します)

-1 エラー

【解説】 ソケットを生成します。

af は IPv4 を使用する場合は AF_INET を、IPv6 を使用する場合は AF_INET6 を指定します。

type は TCP を使用する場合は SOCK_STREAM を、UDP を使用する場合は SOCK_DGRAM を 指定します。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini () で初期化が行われていません
E_AFNOSUPPORT	1002	指定されたアドレスファミリがサポートされていませ
		6
E_SOCKTNOSUPPORT	1003	指定されたソケットタイプはこのアドレスファミリで
		サポートされていません
E_PROTONOSUPPORT	1004	指定されたプロトコルタイプはサポートされていませ
		6
E_MFILE	1005	これ以上のソケットディスクリプタが利用できません
E_INVAL	1008	プロトコルスタックは未初期化

bind

【機能】 指定されたローカルアドレスとの関連付けを行う

【形式】 int bind(int sockfd, const struct sockaddr *myaddr, socklen_t addrlen) sockfd ソケットディスクリプタ myaddr ローカルアドレスが格納されている構造体へのポインタ addrlen アドレスが格納されている構造体のサイズ

【 戻値 】 0 以上 正常終了 -1 エラー

【解説】 bind 関数は connect 関数、listen 関数を使用する前に使用します。

コネクション型 (ストリーム) ソケット、コネクションレス型 (データグラム) ソケットのいずれかに使用します。この関数を呼び出すとメモリ資源を確保し myaddr で指定したローカルアドレスをソケットに割り当てます。インターネット・アドレス・ファミリは次の3つで構成されます。

- 1)アドレスファミリ
- 2) ホストアドレス
- 3) アプリケーションを識別するためのポート番号

アプリケーションが bind 関数を呼び出したとき、sockaddr_in は sockaddr にキャストレパラメータとして渡されます。

```
struct sockaddr_in {
   sa_family_t sin_family;
                                 インターネットファミリ
   in_port_t
               sin_port;
                                   ポート番号
                                  ホストのインターネットアドレス
   struct in_addr sin_addr;
   char
                sin_zero[8];
                                   予約
};
struct in_addr {
   union {
       struct { uint8_t s_b1, s_b2, s_b3, s_b4; } _S_un_b;
       struct { uint16_t s_w1, s_w2; } _S_un_w;
       uint32_t _S_addr;
   } _S_un;
```

 $\label{eq:saddr} \mbox{\tt \#define s_addr} \quad \mbox{\tt _S_un. _S_addr} \\ \} \; ;$

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_AFNOSUPPORT	1002	指定されたアドレスファミリがサポートされていません
E_ADDRINUSE	1006	指定されたアドレスは既に使用されています
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	ソケットはバインディングの準備ができていません
E_ADDRNOTAVAIL	1009	指定されたアドレスが正しくありません
E_FAULT	1016	addrlen が不正または myaddr が NULL
E_NETDOWN	1018	ID 不足により通信端点の生成に失敗かオプションの設定
		に失敗

```
【例】 struct sockaddr_in addr;
addr.sin_family = AF_INET;
addr.sin_port = htons(100);
addr.sin_addr.s_addr = inet_addr("192.168.0.1");
err = bind(s, (struct sockaddr *)&addr, sizeof(addr));
```

listen

【機能】 コネクションの受付を開始する

【形式】 int listen(int sockfd, int backlog) sockfd ソケットディスクリプタ backlog コネクションキューの最大長(1 固定)

【 戻値 】 0 正常終了

-1 エラー

【解説】 ローカルアドレスにバインドされたソケットでコネクションの受付を開始します。 この関数は通常 socket 関数および bind 関数の実行後、accept 関数の前に呼ぶ必要 があります。この関数は TCP のサーバーのみが使用する関数です。パラメータ backlog は現バージョンでは1固定になります。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini () で初期化が行われていません
E_ADDRINUSE	1006	指定されたアドレスは既に使用されています
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	ローカルアドレスにバインドされていません
E_ISCONN	1011	ソケットは既に接続されています
E_OPNOTSUPP	1012	ソケットがコネクション型ではありません
E_NETDOWN	1018	受付口の生成に失敗

accept

【機能】 コネクション要求を受け付ける

【形式】 int accept(int sockfd, struct sockaddr *dstaddr, socklen_t *addrlen) sockfd ソケットディスクリプタ dstaddr 接続されたアドレスを格納するポインタ addrlen アドレスを格納する構造体のサイズ

【戻値】 正の値 正常終了 (新しいソケットディスクリプタ)

-1 エラー

戻り値には新たに生成されたクライアントとの TCP コネクションを参照している ディスクリプタが設定されます。

【解説】 accept は接続待ちキュー(このバージョンでは 1 つのみキューイング可能)より接続 要求を取り出します。その後、新しいソケットを作成し、そのソケットディスクリプ タを返します。新しく作成されたソケットは実際の接続を扱います。 dstaddr には接続してきた相手側のアドレスが設定されます。 addrlen は dstaddr のサイズを指定します。 エラーの場合 nsl_get_err() 関数を使用してエラーの詳細を調べることができます。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_ADDRINUSE	1006	ソケットが使用中
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	accept の前に listen が呼ばれていません
E_OPNOTSUPP	1012	コネクション型ソケットではありません
E_FAULT	1016	addrlen パラメータが小さすぎるか dstaddr パラメータが
		NULL を指しています
E_MEMORY	1017	内部でメモリが取得できません
E_NETDOWN	1018	ID 不足により通信端点の生成に失敗か内部エラー

connect

【機能】 コネクションを確立する

【形式】 int connect(int sockfd, const struct sockaddr *dstaddr, socklen_t addrlen) sockfd ソケットディスクリプタ dstaddr 接続するアドレスが格納されたポインタ addrlen アドレスを格納する構造体のサイズ

【戻値】 0 正常終了

-1 エラー

【解説】 connect 関数は指定したアドレスへの接続を確立します。呼び出しが成功すると、ソケットはデータの送受信が可能になります。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_AFNOSUPPORT	1002	指定されたファミリーのアドレスは、このソケットで使用
		できません
E_ADDRINUSE	1006	ソケットのローカルアドレスがすでに用いられているか、
		指定したポート番号での接続を拒否されました
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	ソケットが未生成.
E_ADDRNOTAVAIL	1009	dstaddr が適当ではありません
E_CONNREFUSED	1010	リモートホストに接続を拒否された
E_ISCONN	1011	ソケットは既に接続されています
E_OPNOTSUPP	1012	未対応のソケットタイプ
E_FAULT	1016	addr l en パラメータが小さすぎるか dstaddr パラメータが
		NULL を指しています
E_MEMORY	1017	内部でメモリが取得できません
E_NETDOWN	1018	ID 不足により通信端点の生成に失敗かオプションの設定
		に失敗か内部エラー

send

【機能】 データ送信

【形式】 int send(int sockfd, const void *buf, size_t len, int flags)

sockfd ソケットディスクリプタ

buf 送信データが含まれているバッファへのポインタ

len 送信するサイズ

flags フラグ (未使用 0)

【戻値】 正の値 送信されたサイズ

-1 エラー

【解説】 接続されているソケットへデータを送信します。成功した場合、実際にソケットに送信されたサイズが返りますが、1en で指定されたサイズが必ず送信できるとは限りません。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	パラメータ flags が不正です
E_OPNOTSUPP	1012	未対応のソケットタイプ
E_NOTCONN	1014	ソケットが未接続です
E_FAULT	1016	送信バッファのアドレスが不正です
E_NETDOWN	1018	内部エラー
E_CONNABRTD	1020	ソケットは切断されました
E_CONNRESET	1021	リセットによりソケットは切断されました
E_HOSTUNREACH	1022	送信がキャンセルされました
E_TIMEDOUT	1023	送信がタイムアウトしました
E_ACCESS	1025	ブロードキャストの送信が許可されていません

recv

【機能】 データ受信

【形式】 int recv(int sockfd, void * buf, size_t len, int flags)

sockfd ソケットディスクリプタ

buf データを受信するバッファへのポインタ

len バッファサイズ

flags 0 (未使用)

【戻値】 正の値 受信したサイズ

-1 エラー

【解説】 接続されているソケットからデータを受信します。成功した場合、ソケットから受信 したサイズが返ります。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	パラメータ flags が不正です
E_OPNOTSUPP	1012	未対応のプロトコルタイプが設定されています
E_NOTCONN	1014	ソケットが未接続です
E_FAULT	1016	受信バッファのアドレスが不正です
E_NETDOWN	1018	内部エラー
E_CONNRESET	1021	リセットによりソケットは切断されました
E_TIMEDOUT	1023	送信がタイムアウトしました

sendto

【機能】 指定した宛先にデータを送信

【形式】 int sendto(int sockfd, const void *msg, size_t len, int flags, const struct sockaddr *to, socklen_t tolen)

sockfd ソケットディスクリプタ

msg 送信データが含まれているバッファへのポインタ

len 送信するサイズ

flags フラグ (未使用 0)

to 送信するアドレスが格納されたポインタ

tolen アドレスを格納する構造体のサイズ

【 戻値 】 正の値 送信されたサイズ

-1 エラー

【解説】 送信先のアドレスを指定してソケットにデータを送信します。sendto は通常、非コネクション型の UDP (データグラム) 通信で使用されます。成功した場合、ソケットに送信されたサイズが返ります。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_AFNOSUPPORT	1002	指定されたファミリーのアドレスはこのソケットで使用
		できません
E_ADDRINUSE	1006	ID 不足により通信端点の生成かオプションの設定に失敗
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	パラメータ flags が不正です
E_ADDRNOTAVAIL	1009	送信するアドレスが正しくありません
E_OPNOTSUPP	1012	未対応のプロトコルタイプが設定されています
E_SHUTDOWN	1013	ソケットは shutdown されています
E_FAULT	1016	データバッファが不正、tolen が小さすぎる、to が NULL
E_NETDOWN	1018	内部エラー
E_TIMEDOUT	1023	送信がタイムアウトしました
E_ACCESS	1025	ブロードキャストの送信が許可されていません

recvfrom

【機能】 データを受信し、始点アドレスを格納

【形式】 int recvfrom(int sockfd, void *msg, size_t len, int flags, struct sockaddr *from, socklen_t *fromlen)

sockfd ソケットディスクリプタ

msg 受信するデータを格納するバッファへのポインタ

len 受信バッファのサイズ

flags フラグ (未使用 0)

from 送信側のアドレスを格納するポインタ

fromlen アドレスを格納する構造体のサイズ

【戻値】 正の値 受信したサイズ

-1 エラー

【解説】 データを受信し送信側のアドレスを from に格納します。recvfrom は通常、非コネクション型の UDP (データグラム) 通信で使用されます。成功した場合、ソケットから受信したサイズが返ります。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_ADDRINUSE	1006	ID 不足により通信端点の生成に失敗かオプションの設定
		に失敗
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	パラメータ flags が不正です
E_OPNOTSUPP	1012	ソケットタイプが SOCK_DGRAM(UDP)ではありません
E_SHUTDOWN	1013	ソケットは shutdown されています
E_FAULT	1016	データバッファが不正、tolen が小さすぎる、from が NULL
E_NETDOWN	1018	内部エラーまたは受信がキャンセルされました
E_TIMEDOUT	1023	送信がタイムアウトしました

close

【機能】 ソケットを閉じる

【形式】 int close(int sockfd) sockfd ソケットディスクリプタ

【 戻値 】0正常終了-1エラー

【解説】 ソケットを閉じます。close はソケットディスクリプタを切り離します。 エラーの場合 nsl_get_err() 関数を使用してエラーの詳細を調べることができます。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_NOTCONN	1014	ソケットが未接続です
E_MEMORY	1017	メモリ解放エラー
E_NETDOWN	1018	内部エラー

shutdown

【機能】 send、recv 呼び出しを無効にする

【形式】 int shutdown(int sockfd, int howto)

sockfd ソケットディスクリプタ

howto どの型の操作を禁止するかを示すフラグ。現バージョンでは SHUT_RDWR 固定です。

【戾值】 0 正常終了

-1 エラー

【解説】 ソケットでの送信、受信のいずれか、または両方を禁止します。このバージョンでは 送受信両方の禁止のみサポートしています。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	1つまたはそれ以上のパラメータが不正です
E_NOTCONN	1014	ソケットが未接続です
E_NETDOWN	1018	内部エラー

setsockopt

【機能】 ソケットオプションを設定する

【形式】 int setsockopt(int sockfd, int level, int optname, const void *optval, socklen_t optlen)

sockfd ソケットディスクリプタ

level プロトコル依存コード(SO_SOCKET 固定)

optname 値を設定するソケットオプション

optval オプションに指定する値を持つバッファへのポインタ

optlen optval のサイズ

【戾值】 0 正常終了

-1 エラー

【解説】 以下のソケットオプションを設定できます。

level	optname	説明	データ型
	SO_BROADCAST	ブロードキャストの送信を許可する	int
	SO_RCVBUF	受信バッファサイズを設定する	int
	SO_SNDBUF	送信バッファサイズを設定する	int
SO SOCKET	SO_RCVTIMEO	受信タイムアウトを設定する	TMO
30_300RE1	SO_SNDTIMEO	送信タイムアウトを設定する	TMO
	SO_CLSTIMEO	クローズタイムアウトを設定する	TMO
	IP_TOS	ToS フィールドの値を設定する	int
	IP_TTL	TTL フィールドの値を設定する	int

SO_RCVBUF、SO_SNDBUF のオプションを使用するときには connect および listen を呼び出す前に設定する必要があります。

SO_SNDTIMEO、SO_RCVTIMEO、SO_CLSTIMEO オプションで指定する値は、BSD ソケットインタフェースでは struct timeval 型ですが、本 API では TMO 型に簡略化してあります。TMO 型でも、これに TMO_POL(0)によってポーリングは指定できません。0 を指定すると、TMO_FEVR(-1)と同じタイムアウトなしに設定されます。

エラーの場合、次ページの getsockopt と同様に、 $nsl_get_err()$ 関数を使用してエラーの詳細を調べることができます。

getsockopt

【機能】 ソケットオプションを取得する

【形式】 int getsockopt(int sockfd, int level, int optname, void *optval, socklen_t *optlen)

sockfd ソケットディスクリプタ

level プロトコル依存コード(SO_SOCKET 固定)

optname 値を取得するソケットオプション

optval オプションの値を受け取るバッファへのポインタ

optlen optvalのサイズ

【戾值】 0 正常終了

-1 エラー

【解説】 以下のソケットオプションに現在設定されている値を取得できます。

level	optname	説明	データ型
	SO_BROADCAST	ブロードキャストの送信許可	int
	SO_RCVBUF	受信バッファサイズを取得する	int
	SO_SNDBUF	送信バッファサイズを取得する	int
	SO_RCVTIMEO	受信タイムアウトを取得する	TMO
SO_SOCKET	SO_SNDTIMEO	送信タイムアウトを取得する	TMO
	SO_CLSTIMEO	クローズタイムアウトを取得する	TMO
	S0_TYPE	ソケットタイプ	int
	IP_TOS	ToS フィールドの値を取得する	int
	IP_TTL	TTL フィールドの値を取得する	int

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	level の値が不正です
E_NOPROTOOPT	1015	指定したオプションは未サポートです
E_FAULT	1016	optval ポインタが NULL になっているか optlen パラメー
		タの値が小さすぎます

nsl_get_err

【機能】 ソケット関数のエラーの詳細を取り出す

【形式】 ER nsl_get_err(void)

【戻値】 エラーコード

【解説】 ソケット関数でエラーになった場合のエラーコードが返ります。 エラーが発生していない場合は E_OK が返ります。

inet_addr

- 【機能】 IPv4 のアドレス文字列を 32bit バイナリアドレスへ変換する
- 【形式】 in_addr_t inet_addr(const char *strptr) strptr "."で区切られた IP アドレス文字列
- 【 戻値 】 正常終了した場合、32bit のインターネットアドレス値が返ります。 strptr に正しい値が入っていない場合、INADDR_NONE が返ります。
- 【解説】 "192.168.0.1" のような文字列をネットワークバイトオーダーの 32bit の IPv4ア ドレスに変換します。

inet_ntoa

てください。

- 【機能】 32bit バイナリアドレスをドット付き 10 進文字列に変換する
- 【形式】 char *inet_ntoa(struct in_addr inaddr)
 inaddr ネットワークアドレスを表す in_addr 構造体
- 【 戻値 】 正常終了した場合、ドット付き 10 進文字列へのポインタが返ります。 エラーの場合、NULL が返ります。
- 【解説】 ネットワークバイトオーダーの 32bit の IPv4 アドレスを"192.168.0.1"のような 10 進文字列に変換します。 この関数で得られる文字列のポインタはソケット内部で確保され、リエントラント ではありませんので、他のソケットから呼び出しが行われる前にデータをコピーし

inet_aton

【機能】 IPv4 のアドレス文字列を 32bit バイナリアドレスへ変換する

【形式】 int inet_aton(const char *src, struct in_addr *dst)
src "."で区切られた IP アドレス文字列
dst ネットワークアドレスを表す in_addr 構造体へのポインタ

【 戻値 】 正常終了した場合、1 が返ります。 src に正しい値が入っていない場合、0 が返ります。

【解説】 "192.168.0.1" のような文字列をネットワークバイトオーダーの 32bit の IPv4ア ドレスに変換します。

inet_pton

【機能】 IPv4 および IPv6 のアドレス文字列をバイナリアドレスへ変換する

【形式】 int inet_pton(int af, const char *src, void *dst)

af アドレスファミリ

src IPv4 または IPv6 アドレス文字列

dst ネットワークアドレス構造体へのポインタ

【 戻値 】 正常終了した場合、1 が返ります。 src に正しい値が入っていない場合、0 が返ります。 入力したアドレスファミリが未対応の場合、-1 が返ります。

【解説】 af は IPv4 を使用する場合は AF_INET を、IPv6 を使用する場合は AF_INET6 を指定します。アドレスファミリが AF_INET の場合、"192.168.0.1"のような IPv4ネットワークアドレス文字列を struct in_addr に変換します。アドレスファミリが AF_INET6 の場合、"fe80::1034:56ff:fe78:9a9b"のような IPv6 ネットワークアドレス文字列を struct in6_addr に変換します。

エラーコード	値	内容
E_AFNOSUPPORT	1002	指定されたアドレスファミリがサポートされていません

inet_ntop

【機能】 ネットワークアドレス構造体で表しているバイナリアドレスを文字列へ変換する

【形式】 const char *inet_ntop(int af, const void *src, char *dst, socklen_t size)

af アドレスファミリ

src ネットワークアドレス構造体へのポインタ

dst IPv4 または IPv6 アドレス文字列を格納するバッファへのポインタ

size 文字列を格納するバッファのサイズ

【 戻値 】 正常終了した場合、ネットワークアドレス文字列を格納するバッファへのポインタ dst が返ります。

エラーの場合、NULL が返ります。

【解説】 af は IPv4 を使用する場合は AF_INET を、IPv6 を使用する場合は AF_INET6 を指定します。アドレスファミリが AF_INET の場合、ネットワークバイトオーダーの IPv4 アドレス(struct in_addr)を文字列に変換します。アドレスファミリが AF_INET6 の場合、ネットワークバイトオーダーの IPv6 アドレス(struct in6_addr)を文字列に変換します。

エラーコード	値	内容
E_AFNOSUPPORT	1002	指定されたアドレスファミリがサポートされていません
E_NOSPC	1024	アドレス文字列がバッファサイズを超えています

gethostbyname

【機能】 ホスト名からホスト情報を検索する

【形式】 struct hostent *gethostbyname(const char *hostname) hostname ホスト名が入った文字列へのポインタ

【
戻値】 正常に終了した場合、struct hostent 型のポインタが返ります。 エラーの場合、NULL が返ります。

【解説】 hostent 構造体は以下のようになっています。

struct hostent {

char *h_name; ホスト名

char **h_aliases: エイリアス名へのポインタ配列へのポインタ

int h_addrtype; ホストアドレスのタイプ(AF_INET)

int h_length; アドレスの大きさ(4)

char **h_addr_list; アドレスへのポインタ配列へのポインタ

};

この関数で返される hostent 構造体は固定的に確保され、リエントラントではありませんので、複数のタスクから同時に操作することはできません。API の実行終了を待ってから操作する必要があります。

-		
エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_FAULT	1016	文字列が不正です
E_NETDOWN	1018	ホストが見つからないまたは DNS との通信が失敗

getpeername

【機能】 ソケットのリモートプロトコルアドレスを返す

【形式】 int getpeername(int sockfd, struct sockaddr *peeraddr, socklen_t *addrlen)

sockfd ソケットディスクリプタ

peeraddr プロトコルアドレスを格納する構造体のポインタ

addrlen 構造体のサイズを格納するポインタ

【戾值】 0 正常終了

-1 エラー

【解説】 接続中のリポートホストのアドレス情報を取得できます。getpeername 関数は接続されているソケットでのみ使用可能です。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	addrlen のサイズが小さすぎるか、peeraddr が NULL です
E_NOTCONN	1014	ソケットが接続されていません

getsockname

【機能】 ソケットのローカルプロトコルアドレスを返す

【形式】 int getsockname (int sockfd, struct sockaddr *localaddr, socklen_t *addrlen)

sockfd ソケットディスクリプタ

localaddr プロトコルアドレスを格納する構造体のポインタ

addrlen 構造体のサイズを格納するポインタ

【戾值】 0 正常終了

-1 エラー

【解説】 getsockname はバインドされているか接続されているソケットで使用されます。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	addrlen のサイズが小さすぎるか、localaddr が NULL です

getaddrinfo

【機能】 ホスト名とポート番号に該当するネットワークアドレス構造体を返す

【形式】 int getaddrinfo(const char *nodename, const char *servname,

const struct addrinfo *hints, struct addrinfo **res)

nodename ホスト名、または数値のホストアドレスが入った文字列へのポイン

タ

servname ポート番号が入った文字列へのポインタ

hints ソケット情報を提供する構造体へのポインタ

res アドレス情報を格納する構造体のリンクリストへのポインタ

【 戻値 】 0 正常終了

EAI_NONAME nodename および servname が NULL

EAI_FAMILY アドレスファミリが未対応 EAI_SOCKTYPE ソケットタイプが未対応

EAI SERVICE nodename または servname に正しい値が入っていない

EAI_NODATA ドメイン名から IP アドレスの取得に失敗

EAI_FAIL プロトコルスタック未初期化

【解説】 addrinfo 構造体は以下のようになっています。

struct addrinfo {

int ai_flags; AI_PASSIVE, AI_NUMERICHOST フラグ

int ai_family; アドレスファミリ int ai_socktype; ソケットタイプ int ai_protocol; プロトコルタイプ socklen_t ai_addrlen; ai_addr の長さ

char *ai_canonname; ノード名の正規名 struct sockaddr *ai_addr; バイナリアドレス

struct addrinfo *ai_next; 次の構造体へのポインタ

};

hints パラメータにより次のようにソケット情報を渡します。

ai_flags に AI_PASSIVE フラグがセットされ、nodename が NULL である場合は、アドレス構造体のネットワークアドレスが 0 (Any address) に設定されます。nodename が" 192.168.1.23" のような数値のホストアドレスが入った文字列の場合は、

ai_flagsに AI_NUMERICHOST フラグをセットする必要があります。

ai_family には、IPv4 を使用する場合は AF_INET を、IPv6 を使用する場合は AF_INET6 を指定します。 AF_UNSPEC を指定した場合、または、hints が NULL の場合、AF_INET が選択されます。

ai_socktype は、SOCK_DGRAM または SOCK_STREAM を設定します。ai_socktype が 0、または、hints が NULL の場合、SOCK_STREAM が選択されます。

ai_protocol と ai_addrlen には 0 を設定してください。ai_canonname、ai_addr、および ai_next には NULL を設定してください。

servname には、"123"のような数値のポート番号が入った文字列を渡してください。NULL の場合、ポート番号が 0 に設定されます。

この関数で返されるアドレス構造体は固定的に確保され、リエントラントではありませんので、複数のタスクから同時に操作することはできません。API の実行終了を待ってから操作する必要があります。

freeaddrinfo

【機能】 getaddrinfo 関数による割り当てられたリソースを解放する

【形式】 void freeaddrinfo(struct addrinfo *ai) ai addrinfo 構造体へのポインタ

【戻値】 なし

【解説】 現在、getaddrinfoは固定メモリ領域を使用しているので、本関数は何もしません。

select

【機能】 入出力の多重化

【形式】 int select(int maxfdp1, fd_set *rset, fd_set *wset, fd_set *eset, const TMO *timeout)

maxfdp1 検査するソケットディスクリプタ番号の最大値+1

rset 読み出し可能を検出するソケットディスクリプタ集合へのポインタ

wset 書き込み可能を検出するソケットディスクリプタ集合へのポインタ

eset 例外状態を検出するソケットディスクリプタ集合へのポインタ

timeout タイムアウト値

- 【戻値】 正常に終了した場合、準備ができているソケットディスクリプタの個数が返ります。 タイムアウトの場合は0が、エラーの場合は-1が返ります。
- 【解説】 select を実行したタスクは待ち状態となり、以下のいずれかのイベントが発生した 場合に待ちが解除されます。
 - 1. 読み出しの場合
 - a)データを受信した
 - b) コネクションの読み出し側がクローズした
 - 2. 書き込みの場合
 - a) 書き込みを行うバッファの準備ができた

例外状態の検出は未サポートです。eset には NULL ポインタを設定してください。 timeout に NULL を指定した場合、タイムアウトなし(TMO_FEVR)と同じと見なされます。ポーリング(TMO_POL)の指定は可能です。

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	パラメータが不正です
E_FAULT	1016	select を呼ぶタスクの ID が不正であるか、プロトコルス
		タック内部リソースをアクセスするための排他処理が失敗
E_NOSPC	1024	select 管理テーブルのエントリ数が不足

ioctl

【機能】 ソケットを制御する

【形式】 int ioctl(int sockfd, unsigned long cmd, void *data)

sockfd ソケットディスクリプタ

cmd ソケットで実行されるコマンドのコード

data コマンドに対応するデータを格納するポインタ

【 戻値 】 0 **正常終了**

-1 エラー

【解説】 コマンドによってソケットに関連するパラメータを取得、または設定します。次のコマンドをサポートします。

コマンド	説明	データ型
FIONREAD	recv()または recvfrom()を呼ぶと読み出せる最大のデー	int
	タサイズを返します。ソケットタイプが SOCK_DGRAM の場	
	合には、キューイングされている最初の UDP データグラム	
	のデータサイズを返します。ソケットタイプが	
	SOCK_STREAM の場合には、TCP 受信バッファに格納されて	
	いるデータのサイズを返します。	

エラーコード	値	内容
E_SOCKNOTINIT	1001	sock_ini()で初期化が行われていません
E_NOTSOCK	1007	ディスクリプタが正しくありません
E_INVAL	1008	data が NULL か、コマンドが未対応か、ソケットが未生成
E_OPNOTSUPP	1012	未対応のソケットタイプ
E_NOTCONN	1014	ソケットが未接続です
E_FAULT	1016	内部エラー
E_NETDOWN	1018	プロトコルスタック未初期化
E_CONNRESET	1021	リセットによりソケットは切断されました

NORTi Socket Interface

NORTi Socket Interface ユーザーズガイド

株式会社ミスポ http://www.mispo.co.jp/

一般的なお問い合わせsales@mispo. co. jp技術サポートご依頼norti@mispo. co. jp